

## 第5回 小学校再編に関する地域住民説明会（児安小学校区） 概要

- 日 時 : 令和元年10月25日(金) 19時開始
- 場 所 : 児安小学校体育館
- 参 加 者 : 40名
- 教育委員会 : 小野寺教育長 他8名  
(事務局)
- 内 容 : 1.開 会  
2.教育長あいさつ  
3.教育委員会職員紹介  
4.配布資料確認  
5.説 明  
① 学校再編の目的  
② 学校再編の具体的方針  
③ 検討プロセス  
④ 今後の進め方  
6.質疑・応答(意見交換)  
7.閉 会

### 地域・保護者等から出された主な意見と回答

○再編というのは分かるが、なぜ旧校区にこだわるのか？片方は600人にもなって、片方は100人っておかしくないか。折角再編するなら旧校区にこだわる理由が分からない。

→ (回答)

今回の再編に関し、基本計画でもそれぞれの小学校区での再編としていたが、あくまでも再編小学校が、開校するのに、学校規模や通学支援の対象者数など、実施計画を策定に関して必要な生徒数を把握する必要があるため、学校区での再編としている。それで、先ほど説明したように、2クラス以上の学校規模を確保するというので、当初は2校案ということで検討を進めていたが、徒歩で歩いて来れない方の人数がかなり多くなってしまったということで、今回4校案を示させていただいている。あくまでも、学区に関しては、先ほど言った実施計画の策定に関する必要な生徒数や、通学支援に必要な人数を把握するため、現在の小学校区単位での再編ということとさせていただきます。

○多分、(その前の質問者が)心配されているのは、割合が違い過ぎるので、再編した後、南小松島小学校だったり、千代小学校だったり、芝田小学校だつたりに通っている方も、児安の方に来ていただける？今は南小松島でも、再編した後、児安に行くことになる子もいる理解でいいか。そうでないと、松中に行ったときに、僕も児安小学校だつたから分かるが、「あれ、クラスに児安の子がこれだけしかおらん」となる。それは僕も心配。今答えを聞きたいわけではない。そういうことなのか、それとも児安は児安全部のような分け方もきっちりしていくのかというのをちょっと聞きたい。

→ (回答)

今回示させていただいている案は、現在の児安小学校区は児安小学校でとしているが、学校区に関しては、今後見直しを検討する必要もあるのかなという事は認識をしている。

○学校再編の具体的方針の「再編時期」のところで、児安小学校の敷地が令和5年度から令和10年度となっているが、この期間に通学をする子どもたちは、どんな感じになるのか。

→ (回答)

施設については使えるものは使ってということで計画はしているが、ただ、詳細についてはそれぞれの学校の施設の調査が必要になってくるので、それは児安小学校だけでなしに、今4校案でお出しさせていただいている全ての小学校に関して、残すか建築するかをそのときに判断する。学校に子どもが通ってきながらなので、改修する際の例えば、仮設校舎を設けるとか、そういったことも今後、詳細は設計の中で決めて行く予定ではいるが、現在は決まっていない。

○最初に質問された方とちょっとかぶると思うが、やはり児安小学校の単独と残りの5校ということで、人数の差が大きとは思いますが、今の事情を踏まえたうえでそういう再編案が出ていることは分かるが、私が心配なのは、中学校に上がったときに、その少人数である児安小学校区の子たちが困ってしまうのではないのかなというのがあり、少人数規模の学校の子たちが大きい中学校に上がって、不登校になってしまうという例もたくさんあるので、そこらへんについて何か話が出たりしていないのかなと。中学校に行ったときの人間関係についてはお話されていないのか？

→ (回答)

小さい学校から中学校に上がったときに、規模が違うということで不登校であるとかということでご心配なさっているかなと思うが、現在なかなか小中学校間での連携は時間的に厳しい部分もあり、頻繁には行われてない。校数が少なくなることで連絡や調整がしやすくなる。そうすると、交流の機会は増えると考えている。中学校の先生を事前に知る機会も増えるということで、子どもにとって安心感が生まれると思う。保護者の方も安心して任せられるかなと思う。中学校入学前にそれぞれの小学校で、子どもたちがスムーズに入学していけるような方法を今後の準備委員会の専門部会の中で考えていくことにはなると思う。どんな形がいいか、どんな交流の仕方がいいかは、そこでの話で、先生に入ってきて、心配が軽減できるように考えていくことになる。

○今回の住民説明会が最後ではなくて、まだこれからも続けるということか？最後か？アンケートをとって、実施計画案が成案になって、その後はまた結果を説明会していただけるのか。

→ (回答)

12月上旬にアンケートを市民3,000人に向けて送らせていただいて、その後、パブリックコメントで広く意見を募る。アンケート結果が良好な結果であれば、次年度から再編を進めていくという形になる。実施計画案を変えなければならないと判断した場合は、また説明会を開かせていただくことになるかと思う。

○アンケートが実際にお子さんのいるご家庭に出すのか、3,000人無作為で誰に行くか分からないということは、もうちょっと人数を増やすことはできないか？

→ (回答)

今想定しているのは、各年齢と市内全域対象に無作為に送れるように考えている。

○私は千代校区の人間だが、16日から住民説明会を行っていて、ここで5校目。千代校区については案外皆さん保護者の方が来られてなかった。ここでは若いお母さん方がたくさんおいでになられている。それでこの住民説明会の連絡方法はどうしているのか。それと、千代校区の説明会でも質問したが、11校ある小学校を今の案であれば4校制ということで理解しているが、この場合において、なぜ旧校区にこだわるのか？今の旧校区を全部撤廃し、児童が自由に学区を選択できるようにすればいいのではないかと。それによって今の案から3校制になることも起こるのではないかと質問したが、あくまでも今の現状のままですということ、和田島とここ児安は現状のまま。あとの校区については、各校区を合併させ2校をつくるという説明だったが、校区は変わらないのかというのが2つ目の質問。

→ (回答)

まず、広報の10月号に今回の地域住民説明会の日程を載せており、各小学校や就学前の幼稚園、保育所、認定こども園を通じて保護者にお知らせしている。市のホームページにも載せているが、それと各小学校区に当日、広報車で広報を行った。それから大型量販店にチラシの掲載のご協力をいただき、この地域住民説明会の日程(表)を周知させていただいた。

基本計画では「学校区単位の再編」としており、その再編小学校の開校時の学校規模や通学支援の人数など、実施計画を作成する上で必要であり、今後その学校区に関しては、検討する必要も出てくるのではないかと認識はしている。

○今までで説明会は5校区目。各校区の説明会に住民が1校につき何人くらい大体来られたのか。そして、校区外の方、校区内の方がいらっしゃっていると思うが、その人数もちょっと教えていただきたい。というのも、皆さんもご存知のとおり、入るときに皆さんお名前と住所(町名まで)を書いたと思う。そうしたら正直、教育委員会からの方には、何人来られているかなどは随時把握されていると思う。よければ教えていただきたい。

→ (回答)

詳細なそれぞれの小学校区での校区内、校区外というようなことは、現在、手元に資料がないのでお答えできないが、この説明会合計の参加人数については、95の方が参加いただいている。

○小学校が減っていく流れになるのは理解できているが、小学校が減る中で、他の公民館だったり、幼稚園だったり、他の施設をなくしたりとか、影響があるのかについて教えて。

→ (回答)

公民館については、小学校と同じで現在11あるが、そのうち、公民館単体の施設については8館ある。残りの3つについては、コミュニティセンターであるとか、老人いこいの家と一緒にあった複合施設という形。今年度までに4館ほど耐震診断の結果、耐震基準を満たしていない。そのうち、今年度から小松島公民館、南小松島公民館については、耐震の判断をした結果、改修なり改築をすることが決まり、現在それに向けて動いている。残りの公民館については、児安公民館、立江公民館が耐震基準を満たしていない、最終的な判断は出ていないが、移転等ということも視野に入れている。ただしこれはあくまでも耐震の基準を満たしておらず、安全で安心が前提で、耐震改修できない施設については取り壊しということで動いている。将来の人口を見ると、やはり市内全体で人口がだんだん減ってきて

いるということになるので、中長期的視点に立つては、施設数は 11 から減るということも検討をしている。ただその前に、公民館だけでなく、施設の耐用年数等を踏まえて、複合化というのにも検討したうえで整備をしていく形で考えている。また、現状は 11 公民館を施設として残すが、先ほども言ったとおり、将来については未定である。

→ (回答)

幼稚園については、現在は立江幼稚園と南小松島幼稚園の 2 園で実施している。これは平成 27 年度に「就学前保育のあり方」という方針を出した。それは幼稚園だけでなく保育所、認定こども園を合わせて、基本的には幼稚園単体で残すのではなく、認定こども園化をしていく方針である。まだその時期等は決まっていないが、考えているということでご理解をいただけたら。

○先ほど調査アンケートが無作為の 3,000 人に出すと、各年代にと言われたが、お子さんがいらっしゃる保護者に向けて、各保育所とかこども園であるとかには回答していただいた方がいいでないかなと思うが、それは難しいのか？

→ (回答)

アンケートは進めていくが、今年度も小学校の保護者とか、就学前児童の保護者にアンケートを取らせていただいたが、ご提案の件については検討課題としたい。

○分かりやすい資料をいただいているが、学校再編の目的の I-③のところ、「多くの仲間と生活をしたり、集団の中で切磋琢磨することができる」とある。次の「検討プロセス」の中にも、学校規模として 12 学級、1 学年 2 クラス以上となっている。これで折角いいのに、最後どうして、これは教育委員会の中だけの話で、5 つと 1 つに分けたのか？誰かにアンケートを取ってか。資料に折角いい意見を書いているのに、どうして最後にそういう話になったのか。誰が決めたのか。教育委員会だけの話か。

→ (回答)

案として決めたのは教育委員会内で決めたということ。

○何のためのプロセスか？

→ (回答)

先ほど言ったとおり、敷地の面積であったり、コストであったり、総合的に勘案して今この案にさせてもらっているが、先ほど言った、小小、小中連携を取ることで規模に対する不安を払しょくできる教育ができるのではないかということで、4 校案とさせていただいていた。

○折角いい意見を教育委員会が出してくれているのに、最後に全然違うものになっているので、どうかなというだけの話だが、すみません。

○小学生の子どもの発達段階を考えたときに、まずは子どもたちの負担軽減、保護者が安心して通学させられるということこそ大事。ぜひそこに重きを置いた小学校再編は必要不可欠な事項で全てのスタートになると強く感じている。そして 2 校案にすると、児安小学校から南小松島小学校では、非常に遠い。歩いて行けるほど近い距離でもない。バス通学となると、バスが 8 台も 10 台も必要ではないかと思う。そして、ハザードマップでも、市内では一番高い小学校になっている。地震で一番守れるのは児安小学

校でないかと思う。そして皆さんが心配されていることだと思うが、勝浦の堤防の決壊だと思うのではないかと。心配があるのではないかと思うが、勝浦川の南岸堤防は田浦町西原地区で堤防の補強整備が進められている。万が一、勝浦川の堤防が決壊しても、四国横断自動車道、高速道路の盛土がこの児安小学校の上流の方に土盛のホールができ、一気に水が押し寄せることはないと考えている。非常に安全、安心な小学校というのはぜひ市内に1校くらいは残す必要があると思う。私はぜひ児安小学校を残していただきたいと思う。